

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キッズデザイン kids design		2年	前期	月曜 ・ 2時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
ファッションフィールドに関する科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションフィールドに関する科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスマワー		電話番号・メールアドレス
中田裕美	授業中に指示	月曜・10:00から16:20		授業中に指示します
授業の概要				
子供服の一般知識（成長による体型の変化、動作特性、服に必要な機能性、素材、一般的なサイズ展開、トレンド、ブランドなど）の説明を踏まえ、子供服製作を実際に体験し、キッズファッションを幅広く理解、習得を図る。				
授業の到達目標				
①子供の成長による体型、動き、トレンド、TPOなどを理解し、それらに適合したデザインや服を選びコーディネートできるようにする。 ②自分自身で子供服をデザイン、製作し大人とは異なった機能性や作りを理解できるようにする。 ③今日的な子供服の知識を得ることにより、より幅広い服飾業界で役立てられるようにする。				
授業の方法				
講義、製作、発表、批評、作品とレポートの提出				
学習の成果				
①子供服の一般知識（体型、動作、機能性、素材、トレンドなど）が理解することができる。 ②自分自身で子供服のデザインや製作をすることができる。 ③ ①②の知識や技術を習得することにより、お客様（親、子供など）に喜んでいただける服選びができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、概要説明			
第2回目	子供の成長による体型の変化、動作特性、子供特有の服の機能についての講義			
第3回目	子供服のアイテム、サイズ展開、素材、季節のコーディネート、トレンド、ブランドについての講義			
第4回目	2、3回目の授業内容を踏まえての各自の子供服をデザイン			
第5回目	各自のデザインの点検後パターン作製			
第6回目	パターン作製および裁断、芯貼り			

第7回目	各自縫製（肩、脇など各自デザインの異なるミシン作業）		
第8回目	各自縫製（肩、脇など各自デザインの異なるミシン作業）		
第9回目	各自縫製（各自デザインの異なるミシン作業）		
第10回目	各自縫製（各自デザインの異なるミシン作業）		
第11回目	各自縫製（各自デザインの異なるミシン作業）		
第12回目	各自縫製（各自デザインの異なるミシン作業およびまつり縫い、ボタンつけなどの手縫い作業）		
第13回目	各自縫製（各自デザインの異なるミシン作業およびまつり縫い、ボタンつけなどの手縫い作業） レポート作成		
第14回目	仕上げ（アイロンがけ） レポート作成		
第15回目	まとめ、製作発表、コーディネート、批評、作品とレポート提出		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	25%	履修上の心得に準じ、きちんとした態度で授業に臨んでいるか	
レポート	15%	きちんと書いたノートが入っているか、丁寧にデザイン画、製品図などが描かれているか、市場調査、各自研究などがされたレポートになっているか。	
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容（態度含む）	15%	作品のコンセプト、ターゲット（テイスト、年齢など）デザインポイント、コーディネートを考えわかりやすく発表できているか。	
その他	45%	作品 子供服の一般知識をもとにデザイン製作できているか。丁寧に縫製できているか。	
教科書と参考図書			
自作プリント配布 実物提示			
履修上の心得・ルール			
遅刻、飲食、携帯電話使用禁止。忘れ物をせず、授業準備を怠らないこと。一社会人として恥じない態度で授業に臨むこと。			